

需要増加に伴う対策

上海市は高齢者施設の整備を進めており、2019年には次のような整備を施しました。

- ・介護用ベッド7202床新設
- ・認知症者用ベッド1485床リフォーム
- ・郊外などにある未整備の養老施設83施設リフォーム

上海の戸籍高齢者数は503万2800人(18年末時点)であり、上海市戸籍人口全体の34.4%を占めていることから、もわかるように、言うまでもなく高齢者の増加に伴う需要が大きな要因です。高齢者の増加に伴い、シルバーサービス産業の需要も拡大しています。

- ・デイサービス83施設新設
- ・社区シルバー総合サービスセンター40施設新設
- ・高齢者給食センター217カ所新設

政府の統計によると、10年には10万床だった養老施設のベッド数は18年には14万4000床にまで増加しています。

上海市は昨年、リハビリ補助器具の社区レンタルサービスの試行拠点として指定されました。民政局の委託事業として上海市リハビリ補助器具協会が実施した審査の結果、37企業計45製品がリハビリ補助機器として指定されました。これには日本企業の製品(車椅子、

電動ベッド、リハビリ機器等)も含まれています。

また、移動が困難な独居高齢者・病弱な高齢者向けの給食サービスが増えているほか、上海緑谷製薬が開発した「九期一」が条件付きでアルツハイマー病新薬に承認され、昨年から話題となつています。これは軽度認知症者が服薬が「中卒以上」だったの対象で認知機能の改善に効果があるとされており、中国国内における販売が計画されています。このほかにも様々なシルバ産業が需要拡大に伴って発展しています。

高齢者サービスの整備進む

中国の高齢者マーケット

～介護・不動産事業の行方～



ゲストハウス総経理
稲田義人

著者プロフィール
ゲストハウス総経理。中国事業に携わって7年、介護職員養成学校の立ち上げや日本式介護研修の実施、また、日系介護企業を集めての上海シニア産業フェアの主催等、上海シニア事業全てを総指揮。

また、人材不足の観点から介護福祉士の取得条件が緩和され、学歴条件が「中卒以上」だったのが「学歴不問」となりました。このような対策は需給拡大とともに行われていますが、実を伴った施策になることを切に願っています。